

ごあいさつ



理事長
山本 新彦

平素より九州労働金庫の事業運営に対しましてご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2023年度は、社会の行動様式も平常に戻り、株価は上昇、消費活動も活発になるなど、経済環境にも明るい兆しが見えてきた一方で、イスラエル・パレスチナの紛争は激化し、ロシアによるウクライナ侵攻も止むことはなく、世界的な物価上昇に伴い、実質賃金は2024年4月まで、25か月連続で前年同期を下回るなど、勤労者の生活は依然厳しい環境に置かれています。

そのような中、第7期中期経営計画（2021～2023年度）の最終年度として、「つながる！ろうきん」をスローガンに、「ろうきんらしいビジネスモデルの展開」と、「安定的な経営基盤の確立」を掲げ、2030年を見据えた「九州ろうきんがめざす姿」の実現に向けて事業を展開してまいりました。おかげさまで、第7期中期経営計画の評価指標（①税引前当期純利益・単年度15億円以上、3年間で50億円以上）（②業務純益プラス店舗90%以上）を達成することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2024年度より、「第8期中期経営計画」（2024～2026年度）がスタートしました。「会員・お客さま、地域住民の方々一人ひとりと本音で話ができる深い関係になりたい」、「福祉金融機関として、目先の損得や効率性よりも、お客さまの安心を優先させたコミュニケーションやサービス提供をしていきたい」、「役職員一人ひとりが九州ろうきんで働くことに誇りを持ち、職員同士が互いに尊重しあい、成長し合う組織風土を構築したい」という想いを込め策定しております。

勤労者それぞれの生活課題は多様化し、複雑かつ深刻になっています。私たちは、これからの経済・金融環境の変化を注視しながら、お客さま一人ひとりのニーズに対応した情報提供と商品・サービスの提供を通じて、生活課題を解決するといった「共助」の精神を堅持し、福祉金融機関としての役割を引き続き果たしてまいります。

九州ろうきんは、10年後も20年後も働く人と地域社会のために、その存在価値を高めつつ継続していくために、更なる工夫と努力を続ける所存です。

ここに、九州労働金庫ディスクロージャー誌「ROKIN DISCLOSURE 2024」を作成いたしました。ご高覧いただき、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いです。

CONTENTS

経営理念

ろうきんの理念と基本姿勢	02
お客さま本位の業務運営に関する取組方針	03
ろうきんSDGs行動指針	06
利益相反管理方針の概要	07
金融商品に関する勧誘方針	08
特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針	08
プライバシーポリシー（個人情報保護方針）	09
金融犯罪被害防止に向けた取り組み	10

事業の方針

中期経営計画・事業計画	12
コンプライアンスの体制	18
苦情・紛争に関する業務運営体制と内部規則の概要	21
リスク管理の体制	23

事業の状況

事業の概況	25
九州ろうきんの健全性・安全性	29
社会的責任と貢献活動	30
トピックス	37
事業の組織	38
歩み	39

営業のご案内

預金商品のご案内	40
各種業務のご案内	41
融資商品のご案内	42
各種サービスのご案内	44
取扱手数料のご案内	46
店舗のご案内	48
[店舗外] 自動機（CD・ATM）のご案内	53

資料編

単体情報	56
連結情報	80
九州ろうきんの概況	94
全国ろうきんの概況	95
索引	96

金額・比率の表示方法

1. 金額単位

- ①各表に表示した金額は、特段の表示がない限り、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
- ②小計・合計等の合算値は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。

2. 諸利回り・諸比率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、算出にあたっては、千円単位もしくは円単位の計数を使用しています。

3. マイナスの表示

数値がマイナスの場合は数値の前に「△」を表示しています。

(注) 金額・比率とも該当数値がない場合は「-」、該当数値があっても表示単位に満たない場合は「0」で表示しています。

※本誌は、労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条（業務及び財産の状況に関する説明書類の縦覧等）の規定に基づいて作成した資料です。
資料の数値で、特に「現在日」の表記がない場合は、2024年3月31日現在のものです。